

エディントンへようこそ (2025)

EDDINGTON

メディア 映画
ジャンル サスペンス 西部劇 コメディ
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 148分
初公開日 2025/12/12
公開情報 ハピネットファントム・スタジオ
映倫 PG12

【キャッチコピー】

この町で
正しいのは
俺だけだ

【解説】

「ヘレディタリー／継承」「ミッドサマー」のアリ・アスター監督が、コロナ禍でロックダウンされているアメリカ南部の小さな町を舞台に贈るサスペンス・ダーク・コメディ。新型コロナ対策を徹底する市長とそれに反発する保安官の対立が、次第に全米を巻き込んだ大混乱へと発展していく混沌の行方を、過激な社会風刺と予測不能の展開でシニカルに描き出していく。出演はホアキン・フェニックス、ペドロ・パスカル、オースティン・バトラー、エマ・ストーン。

2020年、コロナ禍でロックダウンされたニューメキシコ州の小さな町、エディントン。野心家でIT企業の誘致に熱心な市長のテッドは、パンデミック対策を徹底し、市民にマスクの着用を義務付ける。人々の不満が募る中、保安官のジョーはマスクの着用を巡って市長と小競り合いとなり、衝動的に市長選への立候補を決意する。ジョーとテッドの対立が激しさを増す一方、ジョーの妻ルイズは、カルト教団の教祖で過激な扇動動画を配信するヴァーノンに心酔し、次第に陰謀論にハマっていくのだったが…。

【クレジット】

監督	アリ・アスター	Ari Aster
製作	ラース・クヌードセン	Lars Knudsen
製作総指揮	アリ・アスター	Ari Aster
	アン・ロアク	Ann Ruark
	レン・ブラヴァトニック	Len Blavatnik
	ダニー・コーエン	Danny Cohen
	ティモ・アルジランダー	Timo Argillander
	アンドレア・スカルソ	Andrea Scarso
	ハリソン・ハフマン	Harrison Huffman
	アレハンドロ・デ・レオン	Alejandro De Leon
	タイラー・カンペロン	Tyler Campellone
脚本	アリ・アスター	Ari Aster
撮影	ダリウス・コンジ	Darius Khondji
プロダクションデザイン	エリオット・ホステッター	Elliott Hostetter
衣装デザイン	アンナ・テラサス	Anna Terrazas

編集	ルシアン・ジョンストン	Lucian Johnston	
キャスティング	エレン・チェノウェス	Ellen Chenoweth	
音楽	ダニエル・ペンバートン	Daniel Pemberton	
	ボビー・クルリック	Bobby Krlic	
音楽監修	ジリアン・エニス	Jillian Ennis	
出演	ホアキン・フェニックス	Joaquin Phoenix	ジョー
	ペドロ・パスカル	Pedro Pascal	テッド
	ルーク・グライムス	Luke Grimes	ガイ
	ディードル・オコンネル	Deirdre O'Connell	ドーン
	マイケル・ウォード	Micheal Ward	マイケル
	アメリー・フーフアーレ	Amelie Hoeferle	
	クリフトン・コリンズ・J r	Clifton Collins Jr.	
	ウィリアム・ベルー	William Belleau	
	オースティン・バトラー	Austin Butler	ヴァーノン
	エマ・ストーン	Emma Stone	ルイーズ